

ウォータースタンド株式会社とプラスチックごみ削減推進に関する協定締結 ～公共施設にウォーターサーバーを設置しペットボトルの使用抑制～

昨年3月に策定した「豊岡市プラスチックごみ削減対策実行計画」では、「2030年までに使い捨てプラスチックごみをゼロにする」と数値目標で定めており、ペットボトル等の使い捨てプラスチック製品の使用抑制を推進する必要がある。

本市が掲げる「2030年までに使い捨てプラスチックごみゼロ」の実現に向け、2月28日にウォータースタンド株式会社(※1)と、「プラスチックごみ削減の推進に関する協定」を締結し、3月16日に「ウォーターサーバーお披露目式」を開催する。

1 経緯

- (1) 昨年10月に開催した「豊岡市プラスチックごみ削減キックオフイベント」での「Z世代(10代から20代前半)によるトークセッション」において、学生たちから公共施設へのマイボトル用ウォーターサーバーの設置について要望があった。
- (2) 同イベントでウォーターサーバーを協賛設置いただいたウォータースタンド株式会社から、同社と協定を結ぶことで公共施設へウォーターサーバーを最大15台提供可能と提案を受けた。

2 協定のねらい

- (1) ペットボトル等の使い捨てプラスチック製品の使用抑制を図る。
- (2) マイボトルを携帯する環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を推進する。
- (3) 市民・事業者との連携によるプラスチックごみ削減およびプラスチックごみ問題の解決に向けた取組を推進する。

3 ウォーターサーバーお披露目式

(1) 日時

3月16日(木) 午後3時30分～4時

(2) 会場

市役所本庁舎2階 食堂

(3) 出席者

- ア 近藤 紀行^{のりゆき}氏 (ウォータースタンド株式会社 常務取締役)
- イ 西垣 朔太郎^{さくたろう}氏 (近畿大学附属豊岡高校3年/豊岡市プラスチックごみ削減対策実行計画策定委員)
- ウ 宮下 翔伍^{しょうご}氏 (大岡学園高等専修学校3年/豊岡市プラスチックごみ削減対策実行計画策定委員)
- エ 関貴 久仁郎 (豊岡市長)



豊岡市プラスチック
ごみ削減対策実行計画

4 ウォーターサーバーの設置について

(1) 機種

ナノスタンド
(水道直結常温タイプ、浄水型、電源不要)

(2) 台数

2台

(3) 場所

本庁舎 2階食堂(1台)
豊岡稽古堂 1階(1台)

(4) 設置計画

4月以降、各振興局や図書館等へ順次設置(最大15台まで設置可能)

(5) その他

市内事業所等へ給水スポットの設置を進める「Refill^{リフィル}豊岡」(※2)がホームページで市内の給水スポットを紹介しているが、今回新設する給水スポットも登録掲載される。



※1 ウォータースタンド株式会社

- ・ 本社は埼玉県さいたま市。ウォーターサーバー、空気清浄機、オフィス向けサービス・衛生用品を製造。
- ・ 2030年までに使い捨てプラスチックボトル30億本の削減をミッションに掲げ、全国の地方公共団体・教育委員会と「ボトルフリープロジェクト」を推進している。
- ・ 給水スポットの提供だけでなく、設置者と連携してプラスチックごみ削減の意義について普及啓発するなど、マイボトル利用者の拡大を図っている。



ウォータースタンド(株)

※2 Refill 豊岡

- ・ ペットボトル等の使い捨てプラスチックの利用削減を図るため、マイボトル用給水スポットの意義について啓発するとともに、市内の事業所等に給水スポットの設置を呼びかけている。
- ・ 2022年8月発足。
- ・ 2023年2月20日時点での市内給水スポット登録数は23か所。



Refill 豊岡

[問合せ] 豊岡市市民生活部生活環境課地球温暖化防止対策室 TEL 0796-21-9136(直通)